

**第6次高浜市総合計画推進会議（第3回） 会議録**

<b>日時</b>	平成26年8月26日（火）午後7時00分～8時45分		
<b>場所</b>	高浜市役所 第2会議室（4階）	<b>傍聴人数</b>	2名
<b>出席者</b>	<b>委員</b>	中川幾郎、小笠原芳夫、中川勝利、竹内一仁、鈴木康博、竹内亨弘、井野代司彦、杉浦盛仁、古橋知美、神谷通夫、神谷坂敏 (11名出席)	
	<b>行政</b>	高浜市長 吉岡初浩 教育長 岸上善徳 総務部長 新美龍二 市民総合窓口センター長 大岡英城 福祉部長 神谷美百合 こども未来部長 中村孝徳 都市政策部長 深谷直弘 財務グループ リーダー 内田徹 文化スポーツグループ リーダー 岡島正明 教育センターグループ 主幹 神谷理 こども育成グループ リーダー 磯村順司 地域産業グループ リーダー 杉浦義人 市民生活グループ リーダー 山下浩二 都市整備グループ リーダー 田中秀彦 都市防災グループ リーダー 芝田啓二 地域福祉グループ リーダー 杉浦崇臣 保健福祉グループ リーダー 加藤一志 人事グループ リーダー 野口恒夫 行政グループ リーダー 山本時雄 学校経営グループ リーダー 内藤克己 市民窓口グループ リーダー 三井まゆみ 企業支援グループ リーダー 平山昌秋 上下水道グループ リーダー 竹内定 福祉まるごと相談グループ リーダー 篠田彰 生涯現役まちづくりグループ リーダー 磯村和志 介護保険・障がいグループ リーダー 竹内正夫 (26名出席)	
	<b>事務局</b>	企画部長 加藤元久 総合政策グループ リーダー 木村忠好 同 主幹 鈴木明美 同 主査 山本衣江、山本久美、榊原雅彦 同 主事 稲垣翔太、岡田真吾、加古博紀 (9名出席)	

次 第	1 あいさつ 2 議題 1) 「施策評価シート」(平成25年度の取組みに対する評価)について 2) 「基本計画(前期)の総括」について 3) 「施策評価シート」及び「基本計画(前期)の総括」の提出について 3 その他
資 料	資料1：第6次高浜市総合計画推進会議(第2回)会議録 資料2：施策評価シート【平成25年度の取組みに対する評価】 資料3：基本計画【前期】の総括〔平成23年度～25年度〕(案) 資料4：第6次高浜市総合計画の推進に向けて(案)

## 1. あいさつ

(会長)

- ・ただ今から、第3回 第6次高浜市総合計画推進会議を開催する。
- ・本日は、これまで皆さんとともに推進してきた前期の基本計画について、3年間の総括をとりまとめるという大事な回である。会議の最後には、総括の冊子を市長へ提出したい。

## 2. 議題

### 1) 「施策評価シート」(平成25年度の取組みに対する評価)について

- 会 長： ・それでは議題1)に入りたい。前回、行政の各担当職員から、平成25年度  
の取組内容や課題など、行政の内部評価結果について発表していただき、委  
員から感想、課題に対する対応などについてご意見をいただいた。行政の方  
で、委員の意見を受けてシートの修正が行われているので、修正内容につい  
て報告していただく。
- ・また、第2回でご発言いただいた内容、意見用紙に書いていただいた内容を、  
事務局により資料2のシートの右下「推進会議による点検・確認結果」の欄  
にとりまとめていただいた。その内容を一つひとつ確認していくとともに、  
ご発言がなかった部分が空欄になっているので、ご意見を賜り、点検・確認  
結果の欄を埋めていきたい。
- ・では、シートの修正箇所について報告していただく。修正箇所は、網掛けで  
表示がされている。なお、字句の修正など、軽微な修正については報告を省  
略させていただきます。
- ・それでは、6ページ、目標(2)について、財務グループリーダーから説明  
をお願いします。
- 行 政： ・主な修正点の1つ目として、課題と取組みの方向性の(1)「行政サービ  
スのあり方」に対する調査・検討に関する記述を加えた。健全な財政運営を行  
うためには、行政サービスのあり方を含めた行財政改革が必要であるとの考  
えによるものである。
- ・2つ目に、(2)の記述に財政情報の提供に関する記述を加えた。これは、  
総務部長の実行宣言との統一を図るためである。
- 会 長： ・次に、12ページ、目標(5)について、教育センターグループ主幹から説  
明をお願いします。
- 行 政： ・課題と取組みの方向性の(3)「高浜小学校のあり方」ということで、これ  
は「公共施設のあり方計画」を受け、高浜小学校の老朽化に伴うことは喫緊  
の問題と考え、新たに付け加えた。
- 会 長： ・次に、20ページ、目標(9)について、市民生活グループリーダーから説  
明をお願いします。
- 行 政： ・課題と取組みの方向性の(1)で、愛知県との連携を前面に出すために修正  
をしている。(3)では地域・学校との連携を前面に出した方向性を示した。

- 会 長： ・次に、22・24ページ、目標（10）と（11）について、都市整備グループリーダーから説明をお願いします。
- 行 政： ・目標（10）の課題と取組みの方向性の（2）で、長寿命化に向けた取組みを追加した。これは部長の実行宣言に沿った形での修正である。  
 ・目標（11）の課題と取組みの方向性の（3）は、公園づくり等の活動内容・効果をより市民に知っていただくために追加した。
- 会 長： ・次に、26ページ、目標（12）について、都市防災グループリーダーから説明をお願いします。
- 行 政： ・これまでの主な取組みと成果の【No. 42】において、地域の安全ニュースを、実際に地域で活動していただいているという記述に修正した。  
 ・課題と取組みの方向性では、（1）の内容を充実させている。（3）では、前回の推進会議で、防犯についての記述を入れてほしいとのご意見をいただいたので、地域防犯力を高める取組みの項目を追加している。
- 会 長： ・次に、28ページ、目標（13）について、地域福祉グループリーダーから説明をお願いします。
- 行 政： ・課題と今後の取組みの方向性の（4）で、福祉部長の実行宣言との整合性を図るため、生活機能評価の実施と認知症の早期発見・早期支援を行うこと、相談支援体制の充実に向け、権利擁護推進体制を構築すること、以上2点を追加した。
- 会 長： ・最後に、30ページ、目標（14）について、保健福祉グループリーダーから説明をお願いします。
- 行 政： ・課題と今後の取組みの方向性の（1）で、一人ひとりが役割を持って生きがいを見つけられるよう、健康自生地をはじめとした、担い手の発掘及び育成に取り組む旨を追加した。（3）では、介護保険制度の見直しに先駆けて、要支援の受け皿として、生涯現役のまちづくりを進めていくこと、これを部長の実行宣言に合わせた形で追加をした。
- 会 長： ・ただ今、修正箇所についてご報告いただいたが、ご質問があればお願いしたい。  
 （質問等なし）  
 ・次に、「推進会議の点検・確認結果」欄の確認に移りたい。まず、5ページの目標（1）について、他に付け加えることはあるか。  
 （意見等なし）  
 ・では、目標（1）の点検・確認結果については、原案のとおりでよろしいか。  
 －目標（1）は原案どおり承認－  
 ・次に、7ページの目標（2）について、他に付け加えることはあるか。  
 （意見等なし）  
 ・では、目標（2）の点検・確認結果については、原案のとおりでよろしいか。  
 －目標（2）は原案どおり承認－

・次に、9ページの目標（3）について、他に付け加えることはあるか。  
（意見等なし）

・では、目標（3）の点検・確認結果については、原案のとおりでよろしいか。  
－目標（3）は原案どおり承認－

・次に、11ページの目標（4）に入る。空欄となっているが、ご意見はあるか。

委員：・私が話すべきところかと思うが、さほど大きな問題はなかったと感じているため、特にコメントはしなかった。

会長：・それでは一委員として私から提案したい。  
・この目標は生涯学習についてだと思う。生涯学習において、日本ではユネスコが言っている2本立ての片一方しか実践されていない。個人的自己決定能力の確立、これは自分で自分の人生を切り開く能力を高めましょうということだが、これが趣味・教養・余暇に流れてしまう傾向がある。その観点は決して私は否定してはいけないと思うが、一方で集団的自己決定能力の確立というテーマがある。これが家族・近隣社会・地域社会みんなで社会を良くしていこう、みんなで一緒になって取り組んでいこう、考えよう、議論しよう、そういう能力を高めるものである。そういうトレーニングがプログラムの中にないといけない。その方向で生涯学習に取り組んでいくということを、コメントに入れた方が良いと思う。それを通じて高浜を愛して、定着・定住型の市民が育っていく。そしてそれを軸に地域に定着が深まっていき、地域コミュニティを支える人材として目覚めていく。そういったコースが描ける生涯学習、当然そのプランの中には地域防災学習、避難学習、防犯学習が入るべきだと私は思う。芸術や趣味、余暇学習に閉じ込めないでほしいということである。

・書きぶりについては、グループリーダーに一任する。

会長：・その他に付け加えるご意見等はあるか。  
（意見等なし）

・では、目標（4）の点検・確認結果については、僭越ながら私の意見を反映した形で記述していただくことでよろしいか。

－承認－

・次に、13ページの目標（5）について、他に付け加えることはあるか。  
（意見等なし）

・では、目標（5）の点検・確認結果については、原案のとおりでよろしいか。  
－目標（5）は原案どおり承認－

・次に、15ページの目標（6）に入る。空欄となっているが、ご意見はあるか。

委員：・昔から行っている行事がたくさんあるが、行事を新しく開発するのではなく、継続的に過去行った事業を見直しすることで、今後につなげていきたい。

委員：・子どもと関わる中で思ったことは、若い世代を育てることは、子どもの頃から親が安心して子育てしやすい環境にあると感じさせることが大切だということである。年齢別にニーズは様々であるため、市民の声を聞きつつ、高浜らしさを活かしたこれまでの支援体制を強化し、今後とも取り組んでいただきたい。

会長：・その他のご意見はよろしいか。  
(意見等なし)  
・ただ今お2人から貴重なご意見をいただいたので、そのご意見を反映させる形でよろしいか。

－承認－

・次に、17ページの目標(7)について、他に付け加えることはあるか。  
(意見等なし)

・では、目標(7)の点検・確認結果については、原案のとおりでよろしいか。

－目標(7)は原案どおり承認－

・次に、19ページの目標(8)について、他に付け加えることはあるか。  
(意見等なし)

・では、目標(8)の点検・確認結果については、原案のとおりでよろしいか。

－目標(8)は原案どおり承認－

・次に、21ページの目標(9)について、他に付け加えることはあるか。  
(意見等なし)

・では、目標(9)の点検・確認結果については、原案のとおりでよろしいか。

－目標(9)は原案どおり承認－

・次に、23ページの目標(10)に入る。空欄となっているが、ご意見はあるか。

委員：・長寿命化に向けた取組みについてだが、安全で快適な道路の長寿命化の取組みについては、コストパフォーマンスに加え、防災・防犯の面からも大切な取組みである。現場の定期的なチェックを含め、現場へ出ていただくと何かが見えてくると思う。行政の方にはぜひ、メンテナンスサイクルを進行していただくようお願いしたい。

会長：・ただ今いただいたご意見以外に何かあるか。  
(意見等なし)

それでは、委員のご意見を入れ込む形でよろしいか。

－承認－

・次に、25ページの目標(11)に入る。空欄となっているが、ご意見はあるか。

委員：・「自分たちの公園・水辺・緑」といった空間というのは生き物だと思う。さわたり夢広場という防災を含めた公園がある。ここは、行政と業務委託して「さわたりスマレ会」という会を結成し、毎月当番を決め、毎日管理をして

いる。それでもごみやタバコの吸い殻が落ちていたり、イタズラが発生している。この公園・水辺・緑の管理はまちづくりの基本の一つであり、総合計画の各部門にも通ずると思うので、ぜひしっかり取り組んでいただきたい。

会 長： ・ただ今いただいたご意見以外に何かあるか。

(意見等なし)

それでは、委員のご意見を入れ込む形でよろしいか。

－承認－

委 員： ・次に、27ページの目標(12)について、他に付け加えることはあるか。  
・先日の広島土砂災害を受けて、新聞に「行政が避難指示の空振りを恐れてなかなか指示が出せなかった」という社説が載っていた。「空振りは許されても見逃しは許されない」というコメントを一言加えていただきたい。

会 長： ・ただ今いただいたご意見以外に何かあるか。

委 員： ・今委員がおっしゃったことはまさにその通りだと思う。広島画面をテレビで見ると、落ちてくるなという地形に家がある。事故の意識もきちっと持ってほしいということも付け加えていただきたい。

会 長： ・では、目標(12)の点検・確認結果については、ただ今お2人からいただいたご意見を反映させる形でよろしいか。

－承認－

・次に、29ページの目標(13)について、他に付け加えることはあるか。  
(意見等なし)

・では、目標(13)の点検・確認結果については、原案のとおりでよろしいか。

－目標(13)は原案どおり承認－

・次に、31ページの目標(14)に入る。他に付け加えることはあるか。  
(意見等なし)

・では、目標(14)の点検・確認結果については、原案のとおりでよろしいか。

－目標(14)は原案どおり承認－

・最後に、32ページ、目標全般に関するご意見である。他に付け加えることはあるか。

委 員： ・タコ足手法と書かれているが、これはどういったものか。

委 員： ・それぞれの課題に対してどういう角度からチャレンジしていくかということを図解で示し、優先順位を表した。よく使われている魚の骨に落とし込んで、一番危惧する問題を解決するという意志で、こうした図解を用いたら見やすいのではないかと思った。

委 員： ・特性要因図や、連関図で示していただいた方が分かりやすいのではないか。

会 長： ・これについては、視覚的に分かれば良いのではないかと思う。線の太さで取り組むべき順序が分かるのではないか。ある程度のシンプルさは必要かと思

う。

委員：・順序が前後してしまい申し訳ないが、昨日、「タカハマ物語第2弾」という形で新しい映画を作ることがプレスリリースされた。目標（4）において、「今後こうした活動を一つの手法として取り組んでいきたい」という旨を付け加えていただきたい。

会長：・目標（4）に『「タカハマ物語」は非常に意味がある』という記述を入れてほしいということであるが、よろしいか。

－承認－

## 2)「基本計画（前期）の総括」について

会長：・では、総括本編の発表に入りたい。資料3の18ページをご覧いただきたい。  
・「施策評価シート」の内容と重複する部分もあるため、ただ今からの発表では、右ページの「Ⅱ．目標達成のための主な取組み」、目標の達成に向けて3年間でどんな取組みをしてきたのか、また、総括ということであるため、「Ⅲ．課題と今後の取組みの方向性」で挙げた課題について、前期から中期へしっかりとつなげ、解決に向けて取り組んでいくという決意を発表していただく。発表時間は2分厳守でお願いしたい。発表をしていただいた後、一番右下の「推進会議コメント欄」の検討を行っていく。

・では、20ページの目標（1）の発表からお願いする。

行政：・目標の達成に向けた主な取組みだが、「こんなことに取り組みます！」を3つ掲げた。1つ目では、総合計画推進会議や高浜市の未来を創る市民会議において、市民の皆さんとともに総合計画の点検・確認、目標達成に向けた取組みを進め、総合計画の推進状況について広報などで情報発信・情報共有に努めてきた。2つ目、3つ目は、自治基本条例に掲げるまちづくりの基本原則「参画・協働・情報共有」を具体化した取組みである。読み親しまれる広報を目指した紙面の魅力アップ、「まちづくり懇談会」の「まちづくりトーク&トーク」へのリニューアルや、高浜市パブリックコメント条例の施行などにより、市民の意見を聞き、行政の考えを伝えるよう努めてきた。

・課題と今後の取組みの方向性では、3つ挙げている。「いつまでも住み続けたい！」と思える高浜市を創っていくためには、市民・地域・行政それぞれが「自分たちのまちをこうしたい！」という想いを深め、まちの目指す姿や課題を共有しながら、チカラを合わせていくことが重要である。そこで、「総合計画の進行管理」に関しては、前期で培ってきた精神を引き継ぎ、推進会議を中心として進行管理を行い、推進状況についても情報発信していく。また、市民会議のように、市民と職員がともに高浜市の将来について考え、それを実践に移す場は重要である。中期では「アシタのたかハマ研究所」を設け、市の中長期的な課題を研究するとともに、自分たちのまちをこうしたいという思いの実現に向け、一人ひとりができることを考え、実践につなげて



いく取組みを進める。

- 会 長：・続いて、22ページの目標（2）の発表をお願いします。
- 行 政：・初めに、「目指す姿」は、選択と集中及び最少経費で最大の効果による健全な財政運営、並びに財政情報の提供による市民関心度の向上が挙げられる。
- ・これら目標達成のための取組みとして、「高浜版事業仕分け」の実施、「わかりやすい予算書」の発行、「予算編成会議」による事業の優先順位付け等を行った。併せて、公共施設の老朽化問題への対応として、「公共施設マネジメント白書」や「公共施設保全計画（案）」をとりまとめた。
- ・今後の取組みの方向性では、受益と負担、行政サービスのあり方についての調査・検討を行っていくこと、分かりやすい情報を提供していくこと、広域連携の推進、行政運営の効率化などに取り組んでいく。
- 会 長：・続いて、24ページの目標（3）の発表をお願いします。
- 行 政：・目標の達成に向けた主な取組みとして「こんなことに取り組めます！」が4つあった。1つ目の「自治基本条例」の関係では、小学6年生を対象とした「出前授業」を全小学校で実施したほか、まちづくり協議会の要件を定める「まちづくり協議会条例」について、各まち協の理事長（会長）・事務局長が集まる「まち協サミット」において、素案を完成させた。2つ目の「市民予算枠事業」に関しては、「提案書作成の手引き」を作成するなど、よりよい制度となるように毎年度見直しを行うとともに、まちづくりの裾野が広がるよう、活動の掘り起こし、フォーラムの開催や広報たかはまでの連載などを通して、活動の意義・効果等の発信を行った。4つ目の「市民力・職員力アップ」のうち「職員力」に関して、若手・中堅職員対象に、積極的に課題にチャレンジする職員の育成を目的に「たかはま地域経営実践塾」などを行った。
- ・課題と今後の取組みの方向性では、3つ挙げている。協働のまちづくりには教科書はなく、また、すぐに効果が出るというものでもない。市民が主体となったまちづくりがさらに活発となるよう、まちづくりの根っことなる子どもへのアプローチ、あるいは、若い世代への働きかけ、男性が活躍できる取組みなど、まちづくりの裾野が広がる取組みを進めていく。また、職員についても、「地域が現場」「職員も地域の一員」という意識を高め、地域活動への参加を促進し、職員力の向上に努めていく。
- 会 長：・では、ただ今の発表、目標（1）から（3）について、ご意見等があればお願いします。
- 委 員：・「たかはま地域経営実践塾」では、具体的にどんな勉強をされているのか。
- 行 政：・職員がまちづくりに関わる、いわゆる特派員制度について研究し、若手職員も地域に関わっていきこうということについて勉強している。
- 会 長：・その他、ご意見、ご質問はあるか。  
(意見等なし)

- ・特段意見が出ないのも当然で、「施策評価シート」で25年度単年度のご意見をいただいているが、3年分についても、この最終年度のものに集約されてしまっている。原則的には、このコメントをそのまま使える。
  - ・続いて、26ページの目標（4）の発表をお願いしたい。
- 行政：
  - ・目標達成のための主な取組みだが、平成24年度から10年間を計画期間とする「生涯学習基本構想」を市民の皆さんとともに策定した。生涯学習基本構想の推進では、「高浜（まち）の学校」という学びのプログラムを提供するとともに、色々な特技や専門分野を持った人を地域の達人と称し、広報で紹介してきた。3つ目、子ども若者の成長応援として、市民ムービー「タカハマ物語」の制作や上映キャラバンなど「タカハマ物語」に関連した活動を通して、若者の成長を応援し、若者は自主性や責任感、まちへの愛着や誇りを高めてきた。4つ目のスポーツの推進では、市民駅伝大会を新たに始め、5つ目、高浜学では「高浜ふるさと」講座を始めた。
  - ・課題と取組みの方向性だが、生涯学習基本構想の総合的な推進では、生涯学習基本構想に掲げるキーワード「自分磨き」「未来に羽ばたく人材」「教え・教えられる仲間作り」「まちへの愛着や誇り」など、生涯学習基本構想に記載した全てを包含した取組みとして、まちの魅力を皆で集めて語り合い学び合う「タカハマ！まるごと宝箱」という取組みを4月より始めている。2つ目、夢や希望を膨らませる取組みでは、「タカハマ物語第2弾」の制作に向けた取組みを進めていく。第1弾以上に子ども若者の関われる機会を増やし、自分たちの映画という思いが高まるよう進めていく。3つ目、スポーツの推進では、(仮称)高浜緑地の整備を早急に進めるとともに、高浜スポーツクラブと連携し、市民のニーズに合った事業を展開していく。
- 会長：
  - ・続いて、28ページの目標（5）の発表をお願いする。
- 行政：
  - ・前期目標は、次世代を担う子どもを、高浜の未来市民として、家庭・地域・学校の3者で育てる環境を作ることにある。これまでも各園・各学校はそれぞれの特色を前面に出しながら、学区に根ざした教育を展開してきた。しかし、高浜で学び、育ちゆく子どもという観点を考えたとき、幼保小中の連続性・系統性を意識した教育が必要不可欠となる。そこで、市内全ての園・学校が、未来市民の育成という共通の目的を持った教育活動ができるよう、教育行政施策として「教育基本構想」を策定した。主な取組みとして、高浜の良さを学ぶ高浜独自の教育カリキュラム「高浜カリキュラム」を作成した。未来市民の育成という学習目標が、幼保小中全ての学年に一貫して伝えられている。また、「異校間連携推進委員会」では、幼保小中の学びや育ちの連続性、いわゆる縦の連携を意識した教育について検討してきた。「学校支援ボランティア推進部会」では、「子どもたちのために」をキーワードにして、学校・地域がそれぞれ本音で語り合い、学校支援活動や出前授業のあり方を検討し、地域コーディネーターを中心に、調整する仕組みを作り上げた。教

育は政策のために方針が変わってはいけなし、目新しさだけを追求する表面的なものでもいけない。これからの子どもたちに本当に必要な力は何なのか、これからの学校運営に本当に必要な仕組みは何なのかを探り、見極めてきた3年間であった。

- ・そこで、前期の課題と反省を踏まえ、中期基本計画では、いつの時代でもぶれない柱を2本作った。幼保小中の学びの連続性・系統性、すなわち縦の連携はいつの時代でも変わらず大切である。異校種参観、教職員交流、園児・児童・生徒の交流などを継続して定着・浸透させていく。また、学校・地域・家庭との連携、横の連携は高浜のみならずこれからの学校運営においては必要不可欠である。中期では、目指す子ども像と学校防災をモチーフにし、具体的に連携・啓発を図っていく。さらに喫緊の課題として、老朽化の進んだ高浜小学校の建て替えに向けて、施設の複合化を視野に検討していく。

会 長： ・続いて、30ページの目標（6）の発表をお願いする。

- 行 政：
- ・目標達成のための主な取組みだが、全小学校で放課後居場所事業を実施した。また、保育園の民営化による、延長保育などの保育サービスの拡充や、特色ある保育等の実施、待機児童対策の一環として、家庭的保育2ヶ所を新規開設、幼稚園でも短時間就労に対応できるよう、長期休暇などにおける預かり保育の拡充を実施した。また、子育て家庭に子どもに関する情報がしっかりと届くよう、子育て支援ポータルサイトの運営を充実させながら実施した。
  - ・課題と今後の取組みの方向性だが、多様で柔軟な保育サービスの展開は、今後も重要なため、ニーズに即した保育サービスを充実する計画を策定し、その実施に取り組んでいく。2つ目として、子育て支援団体の活動を子育て世帯にしっかりと届け、活動の活性化につなげるためには、結びつきを強めることが重要である。今後、活動の連携がしっかりと図れるよう、子育て支援団体の意見を聞きながら、更なるポータルサイトの活用に取り組んでいく。3つ目として、子ども同士で遊ぶ中での自主性・社会性の醸成は重要であり、単に預かる場を拡充するのではなく、自主性・社会性を醸成する環境づくりのため、これまでの放課後居場所事業を充実し、子どもたちが自由に遊べる環境づくりに努めていく。

会 長： ・では、ただ今の発表、目標（4）から（6）について、ご意見等があればお願いしたい。

- 委 員：
- ・目標（5）の目標達成のための主な取組みの5つ目の「何を・どうした」欄に、『「こんなことに取り組みます！」の3つ目と4つ目に同じ』という記載があるが、これでは分かりにくいので、※1や※2という記載を入れ、「※1や※2と同様」という書きぶりにした方が的が絞れて良いと思う。
  - ・課題と今後の取組みの方向性の②において、できれば「地域の特性を活かした」という表現があった方が良い。マッチングということは学校の地域の特性が重要だと思うので、一言入れていただきたい。

- ・課題と今後の取組みの方向性の「課題」の欄において、①②といった書き方になっているが、①②といった書き方だと、Ⅱ．目標達成のための主な取組みの「何を・どうした」欄の集約のように見えてしまうので、(1)(2)といった書き方にしていきたい。
  - ・「みんなで目指すまちづくり指標」のグラフで、目標値が見にくいのだが、カラーだと色が付いているのか。加えて、線が歪んで見える。最後の総括であるため、きっちり美しくしていきたい。
- 行政：・目標値の線だが、カラーになると赤線で引っ張っている。印刷の関係で線が歪んでいるところがあるが、再点検をし、しっかりと表示できるようにする。
- 会長：・①②の書き方にするか、(1)(2)の書き方にするかについてはどうか。施策評価シートでは(1)(2)の書き方になっているが、総括では①②の書き方になっている。
- 行政：・ご意見のとおり対応させていただく。
- 会長：・その他にご意見はあるか。  
(意見等なし)
- ・それでは、32ページの目標(7)の発表をお願いします。
- 行政：・目標達成に向けた主な取組みとして、企業訪問を実施し、企業との信頼関係の構築と、企業ニーズの把握に努め、工業立地ではその具現化に向け、関係機関や権利者との調整を行った。次に、安定的な農業経営に向けた支援では、新たな高浜市の特産品の掘り起こしを目的として、高浜市特産物開発プロジェクト会議を発足し、高浜野菜の候補として、青ナス、ジャンボ落花生、コーララビを試験栽培し、その普及を目指した。次に、地場産業の支援、三州瓦の販路拡大では、国内外の展示会出展を支援し、三州瓦屋根工事奨励補助金を引き続き実施し、三州瓦の新たな販路の見出しや、販売促進を支援した。
- ・これらを踏まえ、課題と今後の取組みの方向性を3つ掲げた。産業はまちのエンジンであり、まちの原動力でもある。まちの産業が元気であることを中期に向けての目標とし、まず、地場産業への支援では、三州瓦の出荷量を増やすこと、次に、工業用地の創出では、企業ニーズに即した新たな工業用地の掘り起こし、事業者ニーズの把握では、事業者ニーズを的確に捉えながら、新たな支援策等の検討を進めていく。
- 会長：・それでは、34ページの目標(8)の発表をお願いします。
- 行政：・目標達成に向けた主な取組みとして、コミュニティ・ビジネス創業支援セミナーを実施し、起業者を育み、その起業を応援した。2点目は、地域資源を掘り起こし、磨きをかけることによって、高浜市の自慢を育て、内外への発信をした。鬼みちまつりやタカハマ物語フェスタといったイベントを実施し、とりめしや三州瓦といった高浜の魅力を情報発信する場として、「高浜市観光案内所 ONI-House (オニハウス)」を設置した。
- ・次に、課題と今後の取組みの方向性だが、2つを掲げた。中期に向けての目

標として、まず、地域資源をつなぎ、まちの魅力を高める取組みとして、市民や各種団体、関係機関と連携し、誘客や消費に結びつく取組みを、ONI-House を拠点として考えていく。次に、創業したコミュニティ・ビジネスが、自立した継続的な運営ができるよう、アドバイスや更なるネットワークの形成といったフォローアップを行い、地域に根付いたコミュニティ・ビジネスを目指していく。

会 長： ・それでは、36ページの目標（9）の発表をお願いします。

行 政： ・目標達成のための主な取組みとして、3点挙げている。「高浜市みんなでまちをきれいにしよう条例」の推進では、環境美化推進員登録があり、これは目標人数を大きく超えた。環境に配慮した街灯・防犯灯・公園灯の設置では、防犯灯のLED化に取り組んでいる。次に、「高浜市ごみ処理基本計画」については、今後10年間のごみ処理の方向性を示した計画の内容で、平成26年4月から実施をしている。

・課題と今後の取組みの方向性だが、3点挙げている。「地球環境に対する意識が高まっています。」では、愛知県は愛知万博開催以来、環境首都愛知というのを打ち出していることもあるため、県との連携を前面に打ち出した内容となっている。次に、「資源化が進み、ごみの量が減っています。」では、「毎月の勉強会を開催するべきではないか」というご指摘があった。アイデア勝負の部分もあるため、小売店での回収、分別収集特別拠点の増設などをアイデアとして考えていきたい。次に、「ごみの散乱がなく、きれいで住みやすいまちになっています。」では、ごく一部のマナーの悪い方について、防犯カメラの設置等、少し厳しい対応を進めていきたいと考えている。

会 長： ・それでは、38ページの目標（10）の発表をお願いします。

行 政： ・目標達成のための主な取組みとして、4つ挙げている。その中でも、衣浦大橋東交差点の立体化の事業では、市民会議において、立体橋の桁色のアンケートを実施し、「黄土色」に決定した。

・課題と今後の取組みの方向性だが、衣浦大橋東交差点の立体化の事業については、高架橋の供用開始を平成30年頃の目標としており、国や県それぞれの事業の促進と、確実な予算確保を継続的にお願いしていく。また、社会インフラの整備では長期的な視点に立ち、国や県の補助金をいただくことや、財政状況を踏まえた、計画的な整備に取り組んでいく。2つ目は、高度成長期に整備された社会インフラについて、安全で快適な市民サービスを提供するため、「点検→診断→措置→記録」といったメンテナンスサイクルを確立していく。3つ目の行政バスについては、引き続き、衣浦定住自立圏共生ビジョンに基づく各市町の拠点間を結ぶバスとしての研究を進めていく。

会 長： ・それでは、40ページの目標（11）の発表をお願いします。

行 政： ・目標達成のための主な取組みとして、2つ挙げている。衣浦港（仮称）高浜緑地の造成工事の内容と、「高浜市緑の基本計画」に沿った緑のまちづくり

の内容である。

- ・課題と今後の取組みの方向性について、(仮称)高浜緑地の整備は県衣浦港務所が事業主体となるが、多目的広場としての全体整備の中で、グラウンドやフェンスなど上部施設を地域のボランティア団体や、各種スポーツ団体などと調整し、地域の方より愛される憩いの場としての整備、維持管理を検討していく。2つ目として、高浜ベイサイド計画にある、高浜貯木場跡地について活用検討を進めていくが、この場所については、県が定める衣浦港港湾計画の中で、埠頭用地としての一般及び専用使用の施設用地と位置付けられており、港湾管理者である県との十分な調整が必要となっている。引き続き、イベント・マリンレクリエーションとしての港湾管理者との調整を進めていく。3つ目として、「自分たちの公園・水辺・緑」という愛着意識を高める取組みを幅広く周知し、公園や緑化に対する活動の発信することで、愛着意識を高めてもらい、参加者・利用者拡大につなげていきたいと考えている。

会 長： ・それでは、42ページの目標(12)の発表をお願いします。

行 政： ・目標達成のための主な取組みとして6点挙げている。1つ目に、沿岸部・稗田川周辺及び避難所に同報系防災行政無線を整備した。また、防災ラジオを有償配布し、防災情報を提供した。2つ目では、市民会議防犯・防災分科会協働で、電柱や避難所など、約600ヶ所に標高シールを設置した。加えて、町内会、まち協、地元企業、消防団などが参加した「防災ネットきずこう会キックオフ講演会」を開催した。4つ目では、まちづくり協議会の青色防犯灯パトロールなど、防犯活動を積極的に実施した。6つ目では、木造住宅耐震診断費及び木造住宅耐震改修費補助を実施した。

- ・課題と今後の取組みの方向性について、防災に対する意識改革では、モデル地区を設定し、地域の特性に応じた総合防災訓練を実施し、その内容を検証・見直ししながら、実践力のある訓練につなげる。また、HUG(避難所運営ゲーム)やクロスロードなど、様々な手法により防災行動力を高める取組みを進めることとしている。防災教育の推進では、教育委員会と防災担当部局が連携し、小中学生を対象とした防災教育の実施を進める。地域防犯力を高める取組みでは、地域や警察などと連携し、防犯パトロールやあいさつ運動、登下校時の見守りなどに取り組んでいく。

会 長： ・では、ただいまの発表、目標(7)から(12)について、ご意見等があればお願いしたい。

委 員： ・目標(7)と(8)に関して、地域各種団体という一括りになっているが、その中でも商工会が絡んでいる部分がたくさんあるのではないかと思う。「商工会」という文言を入れていただければと思う。

会 長： ・目標(7)と(8)に「商工会」という文言を入れられるか。

行 政： ・具体的に「商工会」と入れたいと思う。

会 長： ・その他ご意見等あるか。

(意見等なし)

- ・それでは、44ページの目標(13)の発表をお願いします。
- 行政：・目標達成のための主な取り組みだが、こども発達センターの開所や、障害者相談支援事業所の体制強化に取り組んだことにより、親支援を含めた子どもの育ちから障害者の就労支援まで、生涯に渡る一貫した支援体制が構築されつつある。また、買い物弱者への支援策として青空市の開催、認知症サポーター養成や権利擁護センターの設置検討など、地域支え合いのネットワーク構築に向けての基盤づくりを行うことができた。
- ・課題と今後の取り組みの方向性だが、親亡き後の障害者の生活不安といった課題に対して、平成28年度を目途に、民間活力の導入による施設整備など、安心して生活できる場の整備に取り組んでいく。また、障害者がその人らしく暮らしていくために、ボッチャなどの取り組みを通じて、地域の中での交流の場などの創出に取り組む。2つ目では、地域で孤立する人が増加する中、引き続き地域福祉の担い手養成に取り組むとともに、養成だけでは終わらないための方策として、南部地区の青空市のような取り組みを、他の地域でも広めていくなど、地域と連携した活動の場の創出に取り組んでいく。3つ目では、今後増加が見込まれる認知症対策として、認知症の早期発見・早期支援につなげるため、個人ごとの生活機能の検証をしていく。また、平成26年度中に権利擁護センターを立ち上げ、いきいき広場の相談支援体制の更なる充実を図るとともに、認知症サポーター養成講座の積極的な実施により、地域支え合いのネットワーク強化に取り組んでいく。

会長：・それでは、46ページの目標(14)の発表をお願いします。

- 行政：・目標達成のための主な取り組みだが、高齢者の皆さんにいつまでも健康でいきいきとした毎日を送っていただくため、いきいき健康マイレージ制度を開始したこと、人とのつながりや交流を楽しめるような高齢者の皆さんの居場所である、健康自生地の認定を開始したことといった事業を開始することができた。介護サービスの分野では、地域密着型小規模特別養護老人ホーム29床が整備をされ、社会資源として新たに加わっている。また、地域医療の分野では、休日夜間の診療体制、救急医療体制の確保の観点からも、病院と診療所の機能分担がより求められている。定住自立圏の枠組みの中で、刈谷豊田総合病院と診療所の地域医療ネットワークを構築することができた。
- ・課題と今後の取り組みの方向性だが、前期の中で新たな取り組みを多く実施することができた。今後はいきいき健康マイレージ制度の充実、地域医療ネットワークの利用促進などの定着・充実に取り組んでいく。

会長：・ただ今の発表、目標(13)と(14)について、ご意見等があればお願いしたい。

(意見等なし)

- ・それでは、一通り発表が終わったので、推進会議コメント欄の検討に入りたい

い。既に、資料2「施策評価シート」のところで、平成25年度の取組みに対する評価ということで私たちのコメントを出しているのですが、基本的にはほぼ同じ内容にならざるを得ないと思うが、この総括については、前期3年間を振り返って、次の中期に向かって私たちから行政へ頑張って取り組んで下さい！というエールを送るということになるので、さらにコメントとして付け加えることがあれば、お伺いしていきたい。

・それでは、目標（1）についてはいかがが。

（意見等なし）

・では、目標（1）については資料2のコメントのとおりとしてよろしいか。

－資料2のコメントのとおり承認－

・次に、目標（2）についてはいかがが。

（意見等なし）

・では、目標（2）については資料2のコメントのとおりとしてよろしいか。

－資料2のコメントのとおり承認－

・次に、目標（3）についてはいかがが。

（意見等なし）

・では、目標（3）については資料2のコメントのとおりとしてよろしいか。

－資料2のコメントのとおり承認－

・次に、目標（4）については先ほど私から意見を述べたが、他に付け加えることはあるか。

（意見等なし）

・それでは、目標（4）については私が述べた意見のとおりでよろしいか。

－承認－

・次に、目標（5）についてはいかがが。

委員：・資料2の13ページの内容で良いと思うが、3つ目の「12年間の学び」についてのコメントの部分で、総括の方では「園」という文言が入っている。資料2の方も「園」という文言を入れ、「子どもと園・学校・家庭・地域」としていただきたい。その方が「12年間の学び」ということにマッチすると思う。

行政：・「園」という記載を入れさせていただく。

会長：・ただ今のご意見を反映させる形でよろしいか。

－承認－

・次に、目標（6）については先ほど委員より意見をいただいたが、他に付け加えることはあるか。

（意見等なし）

・それでは、目標（6）については先ほど委員が述べた意見のとおりでよろしいか。

－承認－



- ・次に、目標（７）についてはいかがか。  
（意見等なし）
- ・では、目標（７）については資料２のコメントのとおりとしてよろしいか。  
－資料２のコメントのとおり承認－
- ・次に、目標（８）についてはいかがか。  
（意見等なし）
- ・では、目標（８）については資料２のコメントのとおりとしてよろしいか。  
－資料２のコメントのとおり承認－
- ・次に、目標（９）についてはいかがか。  
（意見等なし）
- ・では、目標（９）については資料２のコメントのとおりとしてよろしいか。  
－資料２のコメントのとおり承認
- ・次に、目標（１０）については先ほど委員より意見をいただいたが、他に付け加えることはあるか。  
（意見等なし）
- ・それでは、目標（１０）については先ほど委員が述べた意見のとおりでよろしいか。  
－承認－
- ・次に、目標（１１）についても先ほど委員より意見をいただいたが、他に付け加えることはあるか。  
（意見等なし）
- ・それでは、目標（１１）については先ほど委員が述べた意見のとおりでよろしいか。  
－承認－
- ・次に、目標（１２）についてはいかがか。こちらも先ほど委員より追加意見をいただいたが、他に付け加えることはあるか。  
（意見等なし）
- ・それでは、目標（１２）については、資料２のコメントに、先ほど委員が述べた意見を追加した形でよろしいか。  
－承認－
- ・次に、目標（１３）についてはいかがか。  
（意見等なし）
- ・では、目標（１３）については資料２のコメントのとおりとしてよろしいか。  
－資料２のコメントのとおり承認－
- ・次に、目標（１４）についてはいかがか。  
（意見等なし）
- ・では、目標（１４）については資料２のコメントのとおりとしてよろしいか。  
－資料２のコメントのとおり承認－

- ・事務局においては、ただ今ご意見のあった部分を追加・修正等をして、総括の冊子を完成させていただくようお願いしたい。

### 3)「施策評価シート」及び「基本計画（前期）の総括」の提出について

- 会 長： ・それでは、議題3「施策評価シート及び基本計画（前期）の総括の提出について」に入りたい。
- ・ただ今ご意見を出していただいた、施策評価シートと前期3年間の総括の冊子について、市長へ提出するわけだが、提出の際に付ける鑑の文章の案について、事務局が作成したので、事務局から読み上げていただきたい。
- 行 政： ・(資料4を読み上げ)
- 会 長： ・今のような文言でよろしいか。
- 委 員： ・下から3行目、「本総括に挙げられた課題を反映し」とあるが、その上の言い回しと合わせ、「課題」の後ろに「や今後の取組みの方向性など」を追加してはどうか。この文言を入れた方が、より「【中期】の推進にあたっては」というニュアンスが強まると思う。
- 会 長： ・その他ご意見はあるか。  
(意見等なし)
- ・それでは、ただ今のご意見を加えた形でよろしいか。

—承認—

- ・修正の時間を使い、これから総括の提出に入るわけだが、委員の皆さんには3年半、計画の推進から総括のとりまとめまで見届けていただき、大変ご尽力をいただいた。
- ・最後に、委員の皆さんから一言ずつ想いを述べていただきたい
- 委 員： ・ぜひ若手の職員が市民の色々な経験をされた方と、できるだけ今後は継続的にフラクに話し合える場が作れればと切に願っている。
- 委 員： ・色々勉強させていただいた。行政の方には、非常に協力をいただき本当にありがとうございました。
- 委 員： ・3年間あっという間だったが、行政の方に色々助けられて教育基本構想も立ち上がり、本当に楽しくやらせていただいた。今後も引き続き、お手伝いできることがあれば頑張るのでよろしくをお願いしたい。
- 委 員： ・会議に参加させていただいて、やはり役所というのは縦のつながりが強く、我々が入ることによって横のつながり・連携ができればと思った。今後も縦横うまく連携していただけたらと思う。
- 委 員： ・様々なテーマがあるが、行き着くところは全てにおいて「より良い高浜づくり」なのだと感じた。これをさらに有効に推進していくために、それぞれの課題について、空振りを恐れず変化に対応した軌道修正を入れながら、取組みも目標も決断していくのが良いのではと思う。
- 委 員： ・市民会議の防災分科会の有志の中から、「高浜の防災を考える市民の会」がで

き、「子ども防災リーダー養成講座」を昨年立ち上げた。7月に2期目の開講式を行い、8月5日～8日まで東北へ足を伸ばした。室内で色々な講座をやるのも良いが、実際現場を見ると、やはり感じるものが違う。語り部の方がおっしゃっていた中で特に頭に残ったのは、マスコミでは「今こうなっている」という状況説明ばかりで、「逃げてください」というアナウンスがなかったことが非常に残念であったということである。やはり現地を見ると色んなことが見えてくる。行政の方は時間があれば、現場に出てみると色んな新しい発見があると思うので、よろしくお願ひしたい。

委員：・14目標あるが、やはり生活の基盤は安心・安全だということで、3年間色々な啓発活動を行政の方と実施してきた。課題と今後の取組みの方向性に書かれていることは、リーダーの決意表明だと思う。これを書いた以上、一生懸命市民の先頭に立って実施していただきたい。やはり信頼される行政でなくてはいけない、市民とともにやるのだという気持ちでやっていただければ、素晴らしい高浜市になると思う。我々もそれに対して協力は惜しまないので、よろしくお願ひしたい。

委員：・地域福祉分科会の中で、ずっと「自身が必要とする福祉は何か」を考えてきた。その中でやはり一人ではなく、人と関わることで福祉が広がり、深まるものなのかなということを感じた。目に見える福祉はとても充実し、本当にありがたい市だなとつくづく感じている。この会議で色々なことを学び、人間らしく生きるために必要なことを多く学んだ会議だったと感じている。

委員：・3年間、行政と市民が一緒になって市民の健康について考えてきた。このことが市民の健康に役立てばありがたいと思っている。

委員：・まずもって、委員の皆様には3年余の長きに渡り、この推進会議を支えていただいたことに厚くお礼を申し上げる。  
・本日いただいたご意見を踏まえ、中期につなげていくが、私どもは近い将来、情報技術の進展に伴って、役所の仕事のやり方も市民の皆様へのサービスの提供方法も大きく変わってくるのであろうという想定をしているので、中期でも日々改善に向けて努めていく。委員の皆様には今後ともご指導・ご鞭撻をお願い申し上げ、コメントとさせていただきます。本当にありがとうございました。

会長：・私の方からもコメントさせていただきます。皆さんと3年間議論させていただき本当にありがたく存じます。振り返ってみると、全体36指標のうち、9指標を残して良好な数値が出ているという、大変意味のある指標が出ている。こういった良い結果が出ることは、全国的に見てもないため、高浜はすごい実力を持っていると思うのだが、これに慢心することなく今後も努めていただけたら嬉しい。市民会議・推進会議に携わったたくさんの市民たちを「お宝市民」「まちの財産」としてとらえ、どの部局も自身の部局のファン市民層を増やしていくということが、これから大事かなと思う。

・先般、「公営企業」という雑誌に頼まれ私が書いたことは、『これから財政は縮小せざるを得ない。どの町も超高齢化・少子化に入ってしまったいて、手の打ちようがないというのが実情で、仮に政策的に手を打ったとしても、効果が出てくるのは10年20年後である。その間苦しい過渡期に耐えざるを得ない。政策的には「選択と集中」しかない。次の生産性を高めるためにどう決断するか、そのためにはまず行政も頑張らねばならない。住民自治もしっかりしてもらわなければならない。行政と住民とがともに手を携えるという協働の領域をもっともっと開拓していかないと、何でも役所のせいというパターンにはまり込んでしまう。』高浜はその危険性はなくなっていると思うが、まだ住民とのつながりという点での努力の余地はあるのでないかと思っている。慢心することなく、まだまだ課題はある、特に協働の領域を広げるという課題は残っているということを申し上げて私の解説としたい。

・それでは皆さん、3年半ありがとうございました。ここからは、事務局へ進行をお返しする。

行政：・皆様本当にありがとうございました。それではここで、推進会議の皆様から市長の方に総括の提出をお願いしたい。

・それでは、会長さんよろしく申し上げます。

(会長：提出文を読み上げて市長へ渡す)

(渡しているところの写真撮影)

・それでは、市長から、委員の皆様にお礼を申し上げます。

市長：・会長さんをはじめ委員の皆様には、当初は3年間と申し上げたと思うが、実際には3年半お付き合いいただいた。当初、3年と言った瞬間、委員の皆さんは「長いな！」と思われたと思うが、先ほど「あつという間に過ぎてしまった」という声もいただいた。熱心に皆さんでとりまとめていただき、前期の総括ができた。本当にありがとうございました。

・我々が掲げている「思いやり 支え合い 手と手をつなぐ 大家族たかはま」、その原点にあるのかなという体験を先日した。中学生のリーダー養成塾の中で、2年生の子どもたちは「応える」ということをテーマに話をしていた。「応える」というのは誰かが自分の身の回りに起こっていることに、きちっと対応していくこと。例えば、クラスを良くしていくことに応えようとする活動の中で、私の頭に浮かんだのは、他を思いやる心や、支えていこうとする心、そういったものがなかったら「応える」ことはできないということだった。皆さんの思い、市民の方々の思いに我々が応えていくとしたら、どうしたら良いだろう。それは、子どもが「応える」ためにどうするのかを見て分かった。「自分が」こうする、クラスを良くするために「私が」こうする、一人称で書いてある。きっとそこから始まるのだと思った。高浜をどうしていこうかと考えたとき、「まず自分がどうするか」ということをこれから考えていく必要があるのかなと思った。

- ・中学生から学び、今日皆さんの言葉から学ばせていただいた。本当に長い期間に渡ったが、皆さんのお言葉をしっかりと受け止め、今日私は全て聞いていたので、中に記載させていただき、皆さんの思いと違ったことがないよう、私も職員から上がってきたことに少し手を入れながら、今回のまとめをさせていただきます。本当にありがとうございました。

行政： ・では最後に、委員の皆さんの想いを受けて、前期から中期にしっかりとつなげていくという想いを込め、記念撮影を行う。

(撮影後、解散)

